

(第3会場：2F第4研修室)

午前

■司会 石川 順雄 広島県立生涯学習センター 専門員  
佐々木 直 鳥根県西部生涯学習推進センター 社会教育主事

## 1. 出前「朗読劇」による男女共同参画の展開

— ちょこっとばっかい女の問題提起 —

10:45~11:10

小副川ヨシエ〈佐賀県〉 佐賀市女性の会 前会長

男女共同参画についての問題提起を朗読劇化し、公民館および各種団体への出前講座の形態を駆使して活動。佐賀市女性の会の中心的啓発運動。準備開始は平成12年。シナリオから上演まで、手作り。グループ・ディスカッションを重視し、小集団を対象とした活動から出発している。

## 2. 手づくり・輪づくり・人づくり「下関紫陽花会」の6年の軌跡

— ボランティア活動と男女共生社会をめざした生涯学習 —

11:10~11:35

貞光 博子〈山口県〉 下関紫陽花会 会長

親睦を目標に出発。5部会に役割分担を行ない「一人一役」を原則としている。男性会員も受け入れるが、30%以内。主たる活動内容はボランティア活動と男女共生社会づくりのための学習。実働会員のほかに支援して下さるサポート会員を登録し、定例的な活動報告および交流会をおこなっている。継続の基本は「楽しいこと」、活動の基本は「小さな成功」から。小さな花がたくさん集まって大きな花となっている「紫陽花」のように、が名称の由来である。

## 3. 住民の住民による住区まちづくりビジョン会議

— 子どもたちの「ふるさと」づくり活動 —

11:35~12:00

栗栖 孝子〈広島県〉 広島県女性リーダー・リーベの会副会長、府中町女性会副会長

町内会、PTA、女性会、公衛協、町民会議、ボランティアの人達に加えて、住区委員を公募し、年間、20回余の話し合い、フィールドワーク、町内探訪を経て、コミュニティの「人・もの・事」についての現状の診断、問題の提起を行なった。子どもたちの「ふるさと」づくりの視点から「まつり」、イベント、「達人」づくり、「風景」づくり等について提言。会議を機に発足した「勝手に達人クラブ」は、現在地域公民館を拠点に活動中である。

## 4. 総括討論

12:00~12:30